

消食基第 370 号
令和 6 年 12 月 3 日

食品安全委員会
委員長 山本 茂貴 殿

内閣総理大臣 石破 茂
(公 印 省 略)

食品健康影響評価について

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 14 号、食品安全委員会令（平成 15 年政令第 273 号）第 1 条第 1 項及び食品安全委員会令第一条第一項の内閣府令で定めるときを定める内閣府令（平成 15 年内閣府令第 66 号）第 1 号の規定に基づき、下記事項に係る同法第 11 条第 1 項に規定する食品健康影響評価について、貴委員会の意見を求めます。

記

組換え DNA 技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続（平成 12 年厚生省告示第 233 号）第 3 条第 1 項の規定に基づき、次に掲げる食品の安全性審査を行うこと。

半矮性トウモロコシ MON94804 系統



半矮性トウモロコシ MON94804 系統に係る食品健康影響評価について

1. 趣旨

「半矮性トウモロコシ MON94804 系統」については、令和6年11月12日付けでバイエルクロップサイエンス株式会社から、遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第14号等の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品目の概要

本品目は、トウモロコシのデント種HCL301系統を既存品種とし、半矮性の付与を目的として、トウモロコシ内在性のジベレリン20酸化酵素遺伝子を標的とするように設計された逆方向反復配列(GA20ox_SUP RNA)を発現するGA20ox_SUP抑制カセットの導入を行って作出したものである。

3. 付与される形質の概要

GA20ox_SUP抑制カセットから発現するGA20ox_SUP RNAは、RNA干渉機構により認識され、標的のジベレリン20酸化酵素遺伝子の発現を抑制する。この抑制により、茎のジベレリン含有量が低下し、従来トウモロコシと比較して、節間が狭まり、その結果、稈長が短くなる。

4. 利用目的及び利用方法

本品目は、従来トウモロコシと同じ用途で使用され、調理方法及び加工方法も従来トウモロコシと変わらない。

5. 海外の状況

本品目は、カナダ及びオーストラリア・ニュージーランドにおいて食品としての利用承認等がされている。米国及びEUにおいて食品としての利用申請が進められている。

6. 今後の方針

食品安全委員会からの食品健康影響評価の結果を踏まえ、官報公告等の手続を進める。